

本年度社労士試験合格者体験記

③

何度も受験することは
マイナスではない

山田 正博



私は講座に通い始めて5年で合格しましたが、講師の方々と一緒に勉強してきた受講生、職場の方々に何度も祝福して戴き、諦めずに勉強を続け

てきて本当に良かったと感じています。

とりわけ、受講生の方々の合格者を祝福する姿勢には、合格することよりも大切なことを教えて戴きました。

合格までに5年を要した私が、何年間も勉強を続けている受講生の方に伝えたいのは、苦勞して合格したからこそ得るも

のもあり、何度も受験することは決してマイナスではないということだと思います。

『自分以上に勉強した人はいない』と思えるところまで勉強し、諦めずに受験を続ければ、必ず合格の順番が回ってきます。

次回は私が皆さんを祝福する番です。

8月の試験日まで、悔いの残らないよう精一杯頑張ってください！
(SBSフレックネット(株)勤務)

本当に幸運でした

竹村 建紀



社労士講座の存在を知ったのは、名北労働基準協会で実務講座を受けた時でした。

当時、私は知識不足のため、会社の業務で苦勞

しておりましたので、仕事に役立つと思い、受講することにしました。

勉強方法は、朝勉強し、夜には、前日の朝勉強したことを復習するというスタイルでした。

また、講座の受講案内に載っていた勉強法や、先生方に勧められたこと

は何でも素直にやってみました。

講座は、毎回長時間ですが、雰囲気アットホームなので、参加するのが楽しみでした。先生方はサービス精神旺盛で、

受講されているみなさんも優しい方ばかりでした。そんな環境に身を置くことができたからこそ頑張れた、そして合格できたのだと思います。本当に幸運でした。

合格までの体験の中で
感じたこと

関 卓郎



2年半勉強しました。その後半から感じていたことですが、合格へのプロセスは私の趣味であるテニスで試合に勝つことに似ていると思えました。

過去問を重視し、2回不合格となりました。そこで、過去ではなく

未来の問題をやることにシフトしました。成人してから

ツ)の上達は実践です。

小さな大会でも本気の試合から、自分に足りないもの、大きな壁、失敗や敗北を通じて成長します。

勉強も実践(模試)を繰り返ししました。市販のものを含め約30回受けて、復習しました。途中、敗北しすぎて心が折れそうになりましたがこの方法を選択してよかったです。

テニスでも合格(勝利)できるように、たくさんの実践をがんばろうと思います。

(団体職員)

